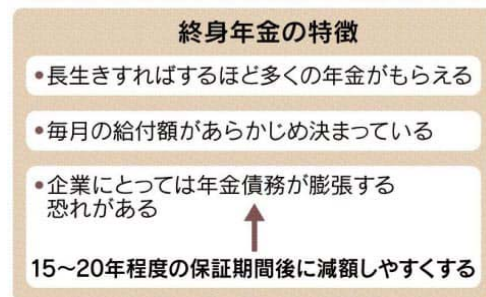
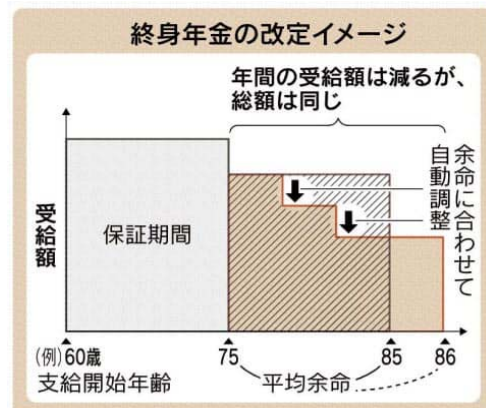


# 企業年金制度改定

参考・出典：日本経済新聞より

## ■ 企業の終身年金、支給抑制可能に

- ・長寿化により、受給者へ支払う終身年金の企業負担が膨らむ構造
- ・上場企業の退職給付引当金は18年度に約28兆円と08年度より3割増加
- ・企業の財務負担を抑制のため、平均余命が延びたら年間の支給額を減らせる仕組みを2021年度にも導入
- ・今後20年で平均余命は1年程度延びる見通し
- ・制度導入による年間の年金額は5年ごとに2.5～4%減額
- ・高齢者の老後資金を確保するには、就労環境の整備が不可欠に



## ■ 企業年金 公的年金を補完、重要性高まる

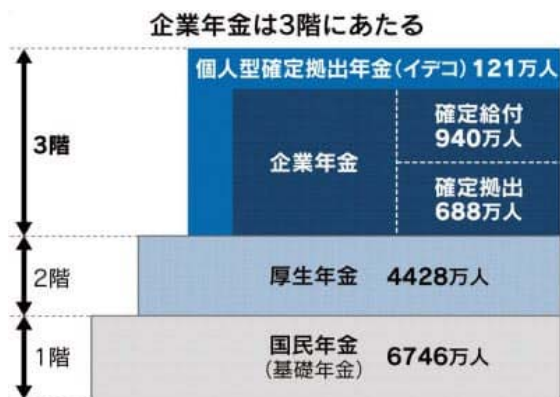
日本の年金制度は3階建てで、1階部分はすべての人が対象の国民年金(基礎年金)、2階部分が会社員が加入する厚生年金、企業年金は3階部分にあたり、任意に加入する個人型確定拠出年金(イデコ)とともに私的年金に分類される。

### 「確定給付」

企業が掛け金を拠出、確定給付は運用のリスクを企業が負う  
(2019年3月末 加入者940万人)

### 「確定拠出」

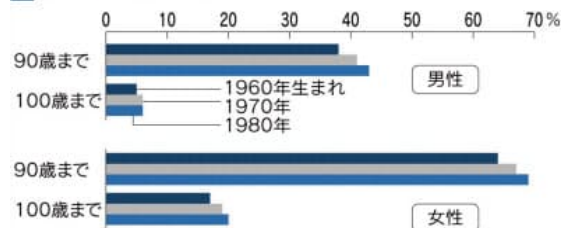
企業が掛け金を拠出するが、従業員自ら運用し、運用リスクを従業員が負う  
(2019年3月末 加入者688万人)



### A 法改正後に受給開始は60～75歳の選択制に



### B 長生きする確率は？



(注)65歳に達した人が各年齢まで生存する確率。社会保障審議会の資料を基に作成

### C 長生きリスクに対応する2つのイメージ

